



学校だより

～ ひびきあう心 かがやく笑顔 ふれあいの丘 斎藤分 ～



学校 HP

令和8年 4月30日 5月号

横浜市立斎藤分小学校 校長 小笠原 洋平

～学校が安心して過ごせる場所であり続けるように～

副校長 山田 由紀子

この4月に本校に着任いたしました、副校長の山田由紀子と申します。着任してから早くも1か月が過ぎようとしています。着任前に学校を訪れた際、まだ私のことを知らないはずの子どもたちが、明るい声であいさつをしてくれたことが、今も心に残っています。初めて足を踏み入れた学校でありながら、自然と交わされたあいさつから、この学校には人と人とのつながりを大切にしながらかかわりあう温かな雰囲気があるのだと感じました。

新学期が始まり、日々の様子に触れる中で、教職員が子どもたち一人ひとりの細やかな変化や様子を共有し合い、チームとして支えている姿にも、この学校の良さを感じました。特別なことをしているというよりも、当たり前のように子どもたちを気にかけて、声を掛け合う。その積み重ねが、学校全体の落ち着きや安心感につながっているのだと思います。

校内を歩く中で、もう一つ強く印象に残ったのが学校環境の様子です。たくさんの木々がある中庭は、いつ見てもきれいに整えられており、落ち葉もほとんど見当たりません。また、校舎内も清掃が行き届き、気持ちよく過ごせる空間になっているなど感じます。こうした環境が日常的に保たれているのは、毎日学校を支えてくださっている技術員の方々の丁寧な仕事があってこそであり、子どもたちが安心して学校生活を送るための大切な基盤だと感じています。

また、保護者の皆様が学校運営に理解を示し、協力してくださっていることも、この学校の大きな特色だと感じています。先日の懇談会では、多くの保護者の方にご参観いただき、学校や子どもたちの様子を温かく見守ってくださっていることを大変ありがたく思いました。保護者の方だけでなく、学校のことを思い、支えてくださる方々が地域に多くいらっしゃるということも伺い、とても心強く感じています。地域や関係の皆様が学校を大切に思い、力を貸してくださっているということは、学校運営にとって大きな安心感であり、子どもたちの学びや生活を支える力になっています。

私がこの学校で何より大切にしていきたいと考えているのは、子どもたちにとって学校が「安心して過ごせる場所」であり続けることです。そして、その安心を支えるためには、保護者の皆様や教職員自身が心身ともに健やかでいられる環境であることが欠かせないと考えています。副校長として、職員室から学校全体を支え、地域とかかわり、子どもも大人も一人ひとりが安心して力を発揮できる環境づくりに努めていきたいと思っています。

5月を迎え、子どもたちは新しい学年にも少しずつ慣れ、自分らしさを表し始める時期です。保護者・地域の皆様、教職員と共に、この学校の良さを大切に育みながら、子どもたちの成長を支えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。